

令和6年(2024年)9月

札幌市立上篠路中学校

令和6年度 全国学力・学習状況調査 実施報告

令和6年4月17日(水)・18日(木)に実施された全国学力・学習状況調査の結果から、本校生徒の生活習慣や生徒自身に関わること、学習に関わることについて、課題や改善の方向について検討した結果をお知らせいたします。保護者・地域の皆様にご覧いただき、本校の学習状況についてお知りいただくとともに、今後、学校・家庭・地域が一体となった教育の一層の充実に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。

【質問紙調査】

生活や学習に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

1. 生活習慣に関わること

○「朝食を毎日食べている」と回答した生徒が90.2%(全国91.2%)、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」と回答した生徒が90.3%(全国80.7%)、「毎日同じくらいの時刻に起きている」と回答した生徒が94.4%(全国92.5%)に達し、規則正しい生活習慣が身に付いていると思われま。

2. 生徒自身に関わること

○86.1%(全国83.3%)の生徒が「自分にはよいところがある」と回答し、94.5%(全国90.4%)の生徒が「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答しました。これからも“さっぽろっ子「学び」のススメ”の通り「まほうのかいわ」で積極的なコミュニケーションを増やし、これまで以上に子どもの成長を促していきたいと思いま。

○88.8%(全国83.8%)の生徒が「学校に行くのが楽しい」と回答し、83.3%(全国76.2%)の生徒が「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答しています。生き生きと生活できる学校づくりに努めていきたいと思いま。

○94.5%(全国95.2%)の生徒が「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答し、75.0%(全国76.1%)の生徒が「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と回答しました。“さっぽろっ子自治的な活動”に様々な講演や体験活動等を取り入れながら、自分の興味・関心などの個性を理解させ、将来の生き方、働き方等を考える力を育成していきたいと思いま。

3. 学習に関わること

○1、2年生のときに受けた授業では、「自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒が73.6%（全国64.8%）、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒が76.4%（全国80.3%）、「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した生徒が81.9%（全国75.4%）でした。自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する学習（課題探究的な学習）を効果的に取り入れながら、主体的に学習に取り組む態度を育みたいと思います。

○学習した内容について、「よくわからなかった点を見直し、次の学習に繋げることができている」と回答した生徒は72.3%（全国77.9%）、「次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」と回答した生徒は70.8%（全国79.0%）でした。計画的で系統的な学習活動を展開すると同時に、授業の内容を実生活で自分事として捉えられるよう、工夫して指導していきたいと思います。

○「学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した生徒は88.9%（全国86.3%）、「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」と回答した生徒が79.2%（全国80.6%）でした。教科の授業や学級活動などで対話や交流の場面を効果的に設定し、協働的な学びを促進していきたいと思います。



本校の概要

【内容】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
・全国平均を上回っている。
- 「情報の扱い方に関する事項」
・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「我が国の言語文化に関する事項」
・全国平均を上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」
・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「書くこと」
・全国平均を上回っている。
- 「読むこと」
・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

- 文の成分の順序や照応について理解すること。
- 資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように話すこと。
- 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること。
- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を理解すること。
- 目的に応じて必要な情報に着手して要約することができる。

改善の方向

- 語順の違いによって表現がどのように変わってくるかを、様々な文型について考え、理解する学習活動の充実。
- 目的や状況、相手に応じて、必要な資料や機器を検討する話合いの活動の充実
- 互いの発言を結び付け、話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめられる活動の充実。
- 実生活に結び付く教材で、文脈を踏まえた上で図表などがもつ役割について考える学習活動の充実。
- 目的や相手を明確にして、実生活の中にある文章の内容を要約して伝える学習活動の充実。

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□ 「数と式」 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□ 「図形」 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□ 「関数」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>□ 「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p>	<p>● 等式を目的に応じて変形すること。</p> <p>● 回転移動について理解すること。</p> <p>● 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。</p> <p>● 複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較すること。</p>	<p>○ ある文字について解くことの意味を理解し、等式の性質などの根拠に基づいて等式を変形する学習活動の充実。</p> <p>○ 図形の移動について考察する際に、図形がきまりにしたがって移動している様子を観察する学習活動の充実。</p> <p>○ 問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする際、数学を活用する方法を説明する学習活動の充実。</p> <p>○ 日常生活や社会の事象を題材とした問題などを統計的に解決するために、必要なデータを収集して分析し、データの分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断する学習活動を充実させる。</p>